宇部市文化振興課

R7_2025 年度彫刻教育実施報告

学　校：宇部市立見初小学校

実　施：個別相談

①１年生「ちょうこくと友達」

②３年生「お気に入りの彫刻を、似合う場所に設置し、理由を説明しよう」

③５年生「彫刻のよさを考え、オリジナルの彫刻をつくる」

④６年生 卒業記念品制作「新しい体育館の看板づくり」

※補足／４年生「MIZOME G NALE／岡田健太郎賞」

備　考：4 年生野外彫刻鑑賞（ときわ公園）を起点に複数学年で彫刻教育を実施した。

実施③：彫刻かるた、制作体験、作家交流

年組名：５年生（１クラス 21 名）

総時数：計 12 時間

教　科：総合的な学習の時間

題　材：彫刻のよさを考え、オリジナルの彫刻をつくる

目　標：言葉のイメージを想像し、イメージに合ったオリジナル彫刻をつくろう

教　材：彫刻かるた

資　料：掲示／彫刻マップ３種

日　程：２０２５年１２月～２０２６年２月　※T2

・彫刻かるたで彫刻にふれる（1 時間）

・彫刻をオノマトペであらわし、オノマトペから形をイメージする（1 時間）

・お話を聞いて、作りたい形をスケッチ（２時間）　※オンライン参加

・オリジナル彫刻づくり（６時間）

・発表資料を考える（１時間）

・彫刻鑑賞、発表会（１時間）　※作家来校

・オリジナル彫刻からかるたの読み札を考える（１時間）

作　家：岡田健太郎（第２６回、２７回、２９回 UBE ビエンナーレ作家）

概　要：彫刻かるたを使った導入で、まちにある彫刻、形や素材などを意識し、彫刻をオノマトペであらわしたりオノマトペから形をイメージする体験をした後、岡田健太郎さんから作品の形づくりについてお話を伺い、好きなオノマトペからオリジナル彫刻の形をアイデアスケッチすることで自身の作りたい形のイメージを膨らませてから、紙粘土でオリジナル彫刻を制作した。平面でのイメージスケッチは自由に描かせたが、立体とするイメージを固める際は、物体として自立する必要があることを意識させて制作をすすめた。作品完成後、岡田さんを招いて彫刻鑑賞会を開き、好きなところや工夫したところなどを発表した。また、自身の彫刻をモチーフにかるたの読み札を考え、オリジナル彫刻かるたを制作した。

宇部市文化振興課

備　考：3 年次の「オリジナル彫刻づくり」で抽象的な形を意識した経験や、4 年次の野外彫刻鑑賞で彫刻の印象を言葉にした経験を活かしたプログラムとなっていた。

取　材：宇部日報社

実施④：作家交流、制作体験

年組名：６年生（１クラス 18 名）

総時数：計１６時間　※全日程 T2

教　科：総合的な学習の時間

題　材：卒業記念品制作「新しい体育館の看板づくり」

日　程：2026 年１月～2 月

・概要説明、校内撮影（１時間）

・思い出のかたちアイデアスケッチ（１時間）

・お話を聞いてイメージスケッチ（２時間）※作家オンライン

・制作／下描き・転写、切り出し・面取り、彫り、着色（10 時間）※来校あり

・貼付け、完成（2 時間）

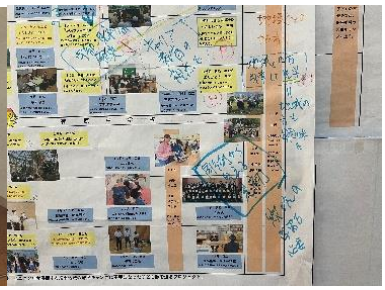
作　家：岡田健太郎（第２７回～２９回 UBE ビエンナーレ作家）

※制作助言、オンライン参加、２月１２日（木）１３日（金）来校

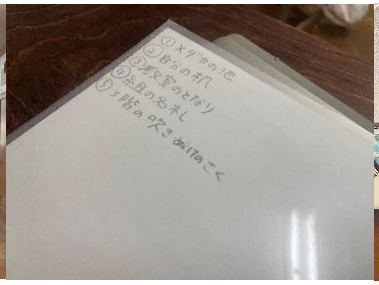
概　要：新しい体育館にかける看板をつくりたいという児童の希望から、思い出の場所や自身の気持ちをモチーフとした看板づくりを卒業記念制作とした。子供たちは校内を巡り、思い出の場所や 6 年間の気持ちからイメージした形を組み合わせて自由に描いた図柄から線刻や着色を加えたレリーフを制作し看板を完成させました。景色のなかや自身の気持ちからみつけた形を組み合わせてイメージする過程は、作家が作品を制作する時に行うかたちづくりの疑似体験にもなっています。作品タイトルは「自分らしさの毎日」とし、完成作品は卒業式で展示後、体育館エントランスに設置されました。

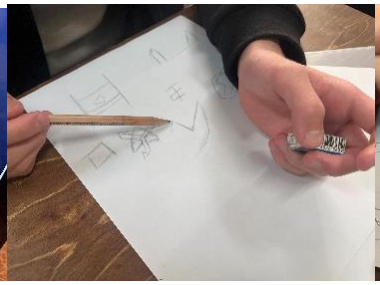
技法・道具：撮影（タブレット）、描画（下絵・転写／A4 用紙、鉛筆、クーピー、カーボン紙）、木材加工（ベニヤ板９㎜、切出・面取／糸鋸、紙やすり　組立・取付／釘、金槌、ラジオペンチ、木工用ボンド、ニス）、着色（水彩絵の具）

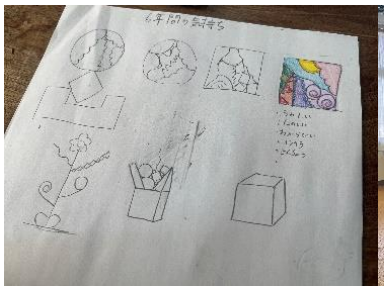
取　材：宇部日報社

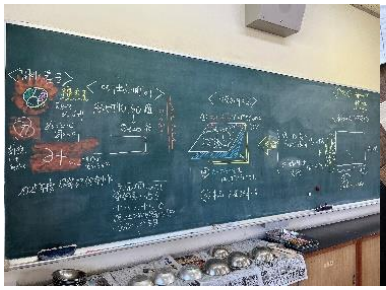
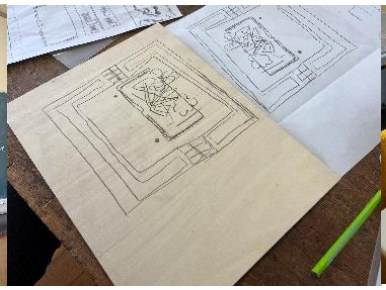


宇部市文化振興課







宇部市文化振興課

補　足：「MIZOME G NALE」岡田健太郎賞

年組名：4 年生（1 クラス 18 名）

概　要：５６年の授業での作家来校に併せて「MIZOME G NALE」と銘打ったミニ彫刻展の受賞作品として「岡田健太郎賞」３点を選出いただいた。